

ブナの里

新緑の葉と新芽が映える黒松内町歌才のブナの樹々

黒松内町ブナセンター 学芸員 齋藤 均 撮影

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ◇ 2022年度 法人事業計画・資金収支予算書 | P2~5 |
| ◇ 法人各事業所の2022年度事業計画 | P6~11 |
| ◇ 2022年 辞令交付式・新任職員研修 | P12 |

2022年度事業計画

社会福祉法人黒松内つくし園 理事長 大代 貴輝

1 事業方針

社会福祉法改正により、ガバナンス強化や事業運営の透明性向上、財務規律の強化、地域での公益的取組の充実などが求められています。当法人では、制度に対応した組織作りと内部統制・本部機能強化に向けて取り組んでまいりました。

本年度は、中長期的ビジョンを法人全体でさらに共有して運営を行ってまいります。また、さらなる法人事業再編と経営の健全化へ向けて、施設整備や事業運営体制の検討をさらに進めてまいります。そして、地域福祉の向上のために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役員一丸となつて事業運営に取り組んでまいります。

こうした状況の中、当法人は以下の方針のもと事業経営に取り組みます。

・法人基本理念・倫理綱領に沿

った事業展開を行う。

- ・利用者・職員・地域住民の幸せを実現するため事業を行う。
- ・法人一体経営へ向けて本部機能強化をさらに推進する。
- ・法人事業再編と健全経営に向けた方針の検討・実施を行う。
- ・中長期的ビジョンを法人全体で共有して事業運営を行う。

2 本年度の重点目標

(1)利用者主体の自立支援に向けた良質なサービスを提供し、施設サービス・利用者満足度の向上を図る。

(2)中長期ビジョンに基づいた中期事業計画を策定し、法人の事業方針を各事業所・役員が共有して一丸となつた事業運営を行っていく。

(3)さらなる事業再編を検討し、経営健全化に向けた方針の検討・実施を行う。

旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体と土地活用方法について、地域・行

政との協議を行いながら方針の決定を行う。

(4)人材の確保・定着・育成のための取組みを継続し、働きやすい職場環境の提供と職員への待遇改善に向けた取組みを行う。

(5)法人一体運営へ向けて内部統制・本部機能強化・集中化、ICT化への取組みをさらに進める。

(6)2023年春の泊村老人ホームむつみ荘指定管理者更新について、自治体と協議を進め法人内で様々な検討を重ねながら方針を決定する。

(7)D&Iの推進とSDGsへの取組みを明確にし、発信力を高める。

(8)地域福祉を積極的に推進し、社会貢献事業の取組みを積極的に進行。

3 事業実施計画(抜粋)

(1)サービスの質の向上

①基本理念と法人倫理綱領に掲げた「利用者主体」「自立支援」に向けた良質なサービス提供へ向けた取組みを法人全事業所で継続する。

②各施設・事業所で利用者サービス計画の内容を定期的に点検を行い、各福祉サービスの質の向上を目指す。

(2)5ヶ年中期事業計画策定

①2018年4月1日から5ヶ年計画で取り組んできた中期事業計画が2023年3月31日で終了するため、将来的なビジョンをもとに新中期事業計画を策定する。

②俱知安地区、緑ヶ丘ハイツの運営上の課題を整理し、中長期的経営計画のもと事業再構築を行う。

③児童養護施設の小規模化へ向けて、黒松内つくし園で2022年度の本園定員を5名減少し70名とする。今後も段階的に定員変更を行い、小規模化・地域化運営への検討を進める。

④旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体工事実施と跡地の活用方法の検討と方針決定を行い、地域・行政・関係機関との協議を行っていく。

(3)法人事業の再構築

①中長期ビジョンに基づいて、事業所定員の見直しと適正人員配置、施設の活用方法等につい

て検討し、経営効率向上への取り組みを行う。

② 俱知安地区再編・経営改善へ向けて、事業の廃止・運営形態変更、事業所統合など、あらゆる方向性を検討しながら、今年度中に俱知安地区全事業の再構築の方針を決定していく。

③ 泊村むつみ荘の次年度の指定管理者更新に向けた検討を行い、事業運営・管理、経営改善へ向けた取り組みを行っていく。

④ 緑ヶ丘老人ホーム・緑ヶ丘ハイツの一体的な事業運営体制の再構築を進め、増収と運営経費削減への取り組みを行う。給食業務については、人員不足等により本年4月から外部委託する。

(4) 人材確保・育成・定着への取り組み
① 人材センターと法人本部人事部門が連携し、学校訪問、職場ガイダンス、オンライン面接等を強化、新卒者・中途採用者の確保を図る。

② マイナビ他人材派遣会社を通じた採用活動を継続。新卒者確保へ向けて、SNSやブログを活用した情報発信を行い、企業

価値のPRを強化する。

③ 昨年度採用予定であったベトナム人技能実習生3期生追加10名と特定技能2期生としてカンボジア人3名・インドネシア人5名が、入国遅れで今年度着任となる。

④ 法人事業所の職場環境・研修体制強化と福利厚生等のサポートを充実させ、働きやすい環境を提供する。

(5) D & I (ダイバーシティ&インクルージョン)の推進

① 男女不平等・女性差別やハラ・スメントなどを排除したジェンダーレスへの取り組みを具現化していく。

② 女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」として、「係長以上の女性職員を3分の1以上とする」目標を掲げ、積極的に女性の活躍を推進していく。

③ 多国籍の職員が福祉サービス業務に従事し、利用者や職員と交流を深めている。職員交流の促進と、地域社会との積極的交流等を支援するなど、多文化共生社会への取り組みを法人・事業所で協力してさらに推進する。

④ LGBT(性的マイノリティ)への理解を深め、事実婚や同性パートナーに対する福利厚生制度の適用を行う。

(6) SDGs(持続可能な開発目標)への取組と発信力強化

① 当法人のSDGsへの取り組みと目標達成に向けて、取引先とのサポートを受け、「黒松内つくし園SDGs宣言」を行う。

② 環境への配慮に向けた取り組みとして、省エネルギーや省資源、廃棄物の削減、リサイクル推進などへの取り組みを、法人・全事業所で役職員が共通認識を持って推進する。

(7) 法人本部集中化とICT化の推進

① 内部統制のための仕組みづくり、コンプライアンス強化、電子稟議システム他各種手順の統一を進め、本部集中化をさらに推進する。

② 勤怠管理システムの給与締め日変更を行い、全事業所で従来の勤怠管理業務をシステムに移行する。また、給与ソフトとの連携を試行・実用化し、今年度中の本格的なシステム稼働・運

用を行う。

(8) 地域貢献事業の推進

① 法人各事業所で社会貢献事業基本要綱をもとに公益的取組を実施する。また、地域福祉のさらなる推進と地域住民・利用者・職員の交流を図る。

② 黒松内町・俱知安町・京極町・泊村での地域貢献事業の実施を継続し、地域住民と施設利用者・職員との交流を深める。

③ 黒松内町社協のふれあいまちづくり事業への支援と各事業の開催を継続し、地域と施設利用者・職員の交流を深める。

④ 昨年度組織した黒松内町「法人地域連携委員会」で、地域貢献や地域活性化のための取り組みを行う。

⑤ 外国人職員と地域の交流を深め、関係機関・地域住民の協力をいただきながら多文化共生社会の実現を目指すための取り組みを行う。

⑥ 就労体験・福祉実習・利用体験での食費・宿泊費無料による受け入れを継続する。また、各学校の福祉職場体験等の受け入れを積極的に行う。

用を行う。

(自)2022年4月1日～(至)2023年3月31日

(単位:千円)

社会福祉事業会計											
しりべし学園	しりべし学園 成人寮	緑ヶ丘ハイイツ	後志リハビリ センター	黒松内保育園	湯の里・黒松内	俱知安 就労支援	俱知安 在宅介護	慶和園	ユニットケア 慶和園	養護むつみ荘	特養むつみ荘
		303,176			409,149		84,767	4,929	270,287		273,924
								85,514		81,890	
96,816				95,343							
	15,390					25,498					
55,903	312,117		247,826			100,748	2,640				
		12,770									
20		162				288				21,134	
40	100	400	150	30	300			50	500	10	20
13	215	2	200	2	1			1		1	1
135	2,800	988	2,321	933	1,650	186	480	1,054	32	1,560	3,680
152,927	330,622	317,498	250,497	96,308	411,100	126,720	87,887	91,548	270,819	104,595	277,625
74,972	166,863	204,289	154,160	65,908	253,200	74,287	69,136	46,051	164,828	57,568	179,990
37,234	73,579	67,772	43,707	13,925	73,950	24,516	15,438	27,698	50,888	25,844	46,962
19,506	41,562	31,267	31,216	9,964	37,625	16,622	8,619	24,461	40,909	18,731	40,776
	15,390					25,498					
					1,900				2,640		3,600
	36	2,128			400	122			448		
40	1,330	181	500	766	24,149	84	408	3	2	48	180
131,752	298,760	305,637	229,583	90,563	391,224	141,129	93,601	98,213	259,715	102,191	271,508
21,175	31,862	11,861	20,914	5,745	19,876	△ 14,409	△ 5,714	△ 6,665	11,104	2,404	6,117
	6,360	10,956									
					63,000						
0	6,360	10,956	0	0	63,000	0	0	0	0	0	0
270	9,390	27,372	280	100	45,325	2,820	180	380	4,588	210	410
572	2,002		2,000	1,505	26,000			220			
720	1,212	1,063	976		4,592	1,360			1,074		
1,562	12,604	28,435	3,256	1,605	75,917	4,180	180	600	5,662	210	410
△ 1,562	△ 6,244	△ 17,479	△ 3,256	△ 1,605	△ 12,917	△ 4,180	△ 180	△ 600	△ 5,662	△ 210	△ 410
500	1,000	3,000	1,310		400			139		300	2,000
		16,200			2,240	21,000		2,000	1,410		
500	1,000	19,200	1,310	0	2,640	21,000	0	2,139	1,410	300	2,000
1,400	3,500	4,906	3,480	1,352	5,800	1,893	1,472	996	4,216	1,440	4,200
5,000	15,644	5,000	10,000	2,240	2,000		48	410	2,000		1,000
											0
6,400	19,144	9,906	13,480	3,592	7,800	1,893	1,520	1,406	6,216	1,440	5,200
△ 5,900	△ 18,144	9,294	△ 12,170	△ 3,592	△ 5,160	19,107	△ 1,520	733	△ 4,806	△ 1,140	△ 3,200
153,427	337,982	347,654	251,807	96,308	476,740	147,720	87,887	93,687	272,229	104,895	279,625
139,714	330,508	343,978	246,319	95,760	474,941	147,202	95,301	100,219	271,593	103,841	277,118
3,000	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0
10,713	7,474	3,676	3,488	548	1,799	518	△ 7,414	△ 6,532	636	1,054	2,507
62,868	154,736	42,522	99,414	30,777	22,527	15,004	23,534	12,843	78,037	15,421	42,609
73,581	162,210	46,198	102,902	31,325	24,326	15,522	16,120	6,311	78,673	16,475	45,116
△ 5,282	△ 13,950	8,448	15,093	△ 9,682	9,039	5,062	△ 8,109	15,952	8,004	△ 3,543	△ 2,914
7,912	1,293	9,396	250	△ 2,114	1,578	△ 754	△ 6,487	1,062	13,001	△ 429	△ 687

社会福祉法人黒松内つくし園 2022年度 資金収支予算書

勘定科目	2019年度	2020年度	2021年度	増減	2022年度			
	決算	決算	4次補正		予算額	法人本部	黒松内つくし園	緑ヶ丘老人ホーム
事業収入								
介護保険事業収入	1,396,932	1,401,050	1,411,838	48,375	1,460,213			113,981
老人福祉事業収入	324,308	317,770	316,105	5,022	321,127			153,723
児童福祉事業収入	381,915	384,806	410,281	1,507	411,788		314,972	
保育事業収入	98,975	105,260	98,636	△ 3,293	95,343			
就労支援事業収入	52,487	39,826	42,368	△ 1,480	40,888			
障がい福祉サービス等事業収入	730,378	759,249	736,431	△ 17,197	719,234			
医療事業収入	7,236	10,464	11,425	1,345	12,770			
その他の事業収入	24,055	27,981	18,547	4,457	23,004			1,400
借入金利息補助金収入	82	54	27	△ 27	0			
経常経費寄附金収入	10,758	14,796	7,363	△ 3,163	4,200	1,300	1,000	300
受取利息配当金収入	69	46	1,139	2,312	3,451	3,001	1	13
その他の収入	58,103	37,687	40,905	△ 5,003	35,902	18,410	1,401	272
事業活動収入計(1)	3,085,298	3,098,989	3,095,065	32,855	3,127,920	22,711	317,374	269,689
支出								
人件費支出	1,876,967	1,840,367	1,859,675	2,124	1,861,799	2,130	185,810	162,607
事業費支出	651,317	630,322	655,250	12,550	667,800	9,880	91,114	65,293
事務費支出	355,019	337,529	405,690	△ 704	404,986	28,682	16,700	38,346
就労支援事業支出	63,073	47,879	42,352	△ 1,464	40,888			
利用者負担軽減額	7,847	7,844	7,906	234	8,140			
支払利息支出	5,709	7,162	6,105	△ 753	5,352	1,470	748	
その他の支出	29,271	29,138	28,808	△ 97	28,711		900	120
流動資産評価損等による資産減少額	0	0	0	0	0			
事業活動支出計(2)	2,989,203	2,900,241	3,005,786	11,890	3,017,676	42,162	295,272	266,366
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	96,095	198,748	89,279	20,965	110,244	△ 19,451	22,102	3,323
施設整備等収入								
施設整備等補助金収入	23,462	39,105	36,221	△ 15,593	20,628		3,312	
施設整備等寄付金収入	5,000	6,900	4,650	△ 150	4,500	4,500		
設備資金借入金収入	332,700	36,500	0	63,000	63,000			
固定資産売却収入	55	62,646	204	△ 204	0			
その他の施設整備等による収入	0	0	0	0	0			
施設整備等収入計(4)	361,217	145,151	41,075	47,053	88,128	4,500	3,312	0
施設整備等支出								
設備資金借入金元金償還支出	72,462	93,912	78,502	24,195	102,697	4,700	6,122	550
固定資産取得支出	1,010,761	81,751	33,840	759	34,599		2,300	
固定資産除却・廃棄支出		1,800	0	0	0			
ファイナンス・リース債務の返済支出	15,246	14,615	12,848	305	13,153		1,362	794
その他の施設整備等による支出	0	0	0	0	0			
施設整備等支出計(5)	1,098,469	192,078	125,190	25,259	150,449	4,700	9,784	1,344
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 737,252	△ 46,927	△ 84,115	21,794	△ 62,321	△ 200	△ 6,472	△ 1,344
その他の活動収入								
長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0			
長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0			
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0			
積立資産取崩収入	700,379	140,081	99,339	△ 88,209	11,130	1,480	1,001	0
拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0			
拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	10,000	△ 10,000	0			
拠点区分間繰入金収入	0	0	236,746	△ 133,204	103,542	55,692		5,000
その他の活動による収入	0	0	0	0	0			
その他の活動収入計(7)	700,379	140,081	346,085	△ 231,413	114,672	57,172	1,001	5,000
長期運営資金借入金元金償還支出	4,530	4,530	4,530	0	4,530	4,530		
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0			
積立資産支出	69,704	171,310	86,443	△ 42,036	44,407	1,482	4,900	3,370
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0			
拠点区分間長期貸付金返済支出	0	0	10,000	△ 10,000	0			
拠点区分間繰入金支出	0	0	236,746	△ 133,204	103,542	47,200	10,000	3,000
その他の活動による支出	54,092	109,957	6,585	△ 6,585	0			
その他の活動支出計(8)	128,326	285,797	344,304	△ 191,825	152,479	53,212	14,900	6,370
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	572,053	△ 145,716	1,781	△ 39,588	△ 37,807	3,960	△ 13,899	△ 1,370
当期収入額計(1)+(4)+(7)	4,146,894	3,384,221	3,482,225	△ 151,505	3,330,720	84,383	321,687	274,689
当期支出額計(2)+(5)+(8)	4,215,998	3,378,116	3,475,280	△ 154,676	3,320,604	100,074	319,956	274,080
予備費(10)	0	0	2,000	4,000	6,000	0	1,000	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 69,104	6,105	4,945	△ 829	4,116	△ 15,691	731	609
前期末支払資金残高(12)	786,074	716,970	723,075	4,945	728,020	16,226	80,425	31,077
当期末支払資金残高(11)+(12)	716,970	723,075	728,020	4,116	732,136	535	81,156	31,686
2021年度最終予算との当期資金収支差額の増減				20,965		5,533	△ 12,151	9,465
2021年度最終予算との当期資金収支差額の増減				△ 829		△ 21,483	△ 2,275	△ 1,092

(福)黒松内つくし園各事業所 2022年度事業計画

「小規模化・地域分散化へ向けて」

黒松内つくし園

令和2年度の児童虐待相談

件数は全国で20万件超、北海道でも6千件を超えるなど増加の一途を辿っています。そのような状況下で、令和2年3月に「社会的養育推進計画」が策定され、その流れを組して4年度も75名から70名と2年連続で定数を5名減としました。小規模化等については委員会を設置し準備を進めていき、同時に安定経営に向けた入所人員の確保、関係機関との連携や実習生への積極的なアプローチ、各学校へボランティアの案内をする等で職員確保に努め、永年勤務できる職場作りや人材育成の組織体制の見直しを行っています。



きます。

児童の支援としては権利擁護の推進と、権利侵害が起きないよう園内研修や苦情解決・意見箱・子ども会アンケート等の振り返りを毎月行うとともに、感染症対策に留意し安全・安心な生活と支援の向上につとめていきます。

具体的には1. 小規模化・地域分散化・高機能化に向けた取り組みの実施（児相・関係機関との連携強化、委員会設置）2. 権利擁護・虐待防止に向けた取り組みの継続と支援内容の見直し（意見箱・アンケート実施、行事の見直し）3. 組織体制の見直し、人材確保に向けた取り組み4. 働き方改革への対応（勤務体制の見直し、業務改善、行事等の見直し）5. 安心な生活への対応（感染予防対策、自然災害対策）6. 貢献活動の充実（合同行事、健康診断往診、園内研修等）などについて重点的に取り組んでいきます。

「開園55年目、新たなスタート」

認定こども園黒松内保育園

今年度は開園55年目を迎え、

新たなスタートを踏み出します。法人の倫理綱領、認定こども園の基本理念のもと、黒松内唯一の就学前施設として「意欲と思いやりがある元気な子」を柱として進めます。関係機関との連携を深め、子どもの成長のため認定こども園としての機能を生かし、更には質の高い保育・教育を目指してまいります。

◎今年度の重点目標

1. 保育指針改定の中の「10の姿」を育むよう保育実践を進める。
2. 安心安全な保育活動のため日々感染症対策を強化継続して行う。
3. 黒松内町の「人・自然・物（法人含め）」を活用した保育を行う。
4. 職員の資質向上のために外部講師を招聘し計画的な研修を行い保育の質を高める。
5. 黒松内町、小学校等関係機関と連携し「アプローチ・

スタートカリキュラム」継続する。

6. 地域貢献・社会貢献事業の取り組みを積極的に進める。
7. 旧園の塗装・屋根部分の錆止め塗布・コーキング・雨漏り修繕・調理エアコンの取り替えを実施。
8. メンタルヘルスケア・心の健康作り活動を行い、業務改善については、職員より意見を募り出来る部分から改善していく。

9. 黒松内町地域子育て支援センター事業・一時預かり事業内容を検討し継続する。

また、今後入所予定の未満児が多いため、職員確保に努める。



**「安心安全を追求し、喜びや生きがいを共感できる
最高の生活の場を目指す」**
～緑ヶ丘老人ホーム～

形態を外部利用型特定施設から一般型特定施設へ変更し一年を経過致しました。施設全体の長所や機能を最大限に生かした運営を進めるべく、職員は一致団結し歩んで参ります。又、地域に根差し魅力ある施設風土を目標に邁進し、利用者及び人材確保、経費等の削減を進め、安心安全を第一前提にその中からやりがい等を追求しサービソ向上に努めます。調理部門については、日清医療食品の外部委託に切り替わる為、利用者の方々が満足頂けるよう業者とも連携を密にし安定供給に努めます。

一方、拠点内の在宅福祉部門の通所事業、訪問事業、居宅支援事業所においては、地域からの一層の信用と信頼を得て黒松内町はもとより管内の高齢者福祉の中心的な役割を担えるよう日々研鑽に努めます。又、高齢者の方々が安心して住み慣れた自宅で継続して生活できる支援を目指し、ご家族も安心して任せられる事業所として一役を担う事を目指します。

◎今年度の重点目標

1. 一般型特定施設の継続向上できる運営に努めます。
2. 調理部門の外部委託による食事の安定供給に努めます。
3. 職員の円滑なコミュニケーション、より良い職場環境への改善を図り、絆を大切に施設形成に努めます。
4. 職員一人ひとりが組織の活性化と経営に対する意識を持ち、組織機能の評価、運営、コスト等を見直し、改善に努めます。
5. 各事業所において健全な経営と効率的な施設整備及び修繕に取り組みます。
6. 地域貢献を目的とした事業を継続して社会との関りを重視に努めます。
7. 法人内（養護、特養、老健）の高齢者施設連携に向けた効率的な運営の実施に努めます。



「明るく・元気に・やる気ある組織を目指す」
～緑ヶ丘ハイツ～

入所利用者の稼働率の増加を

実現し、人材確保に努めることを念頭に運営を進めています。しかし、移転から2年経過する中で改善に向けての上昇気流が発生していない横ばいの現実があります。一番の問題として、人材の確保があり、この状況を打破するために早急に運営スタイルの大きな変更等を立案し実行に移す大切な一年になります。その中でも、各職員は一致団結し安心安全を追求し、やりがいを求め一つひとつ前進し、職員確保、利用者確保、コスト管理の徹底を心掛け、運営理念に基づいた事業の執行に努めます。

1. 利用者様、ご家族が満足いただけるサービソの提供に努めます。
2. 人材の確保に最大の力を注ぐと共に職員一人ひとりの育成に努めます。
3. 職員同士の繋がりのある活力溢れる職場づくりに努めます。
4. 地域に根差し、社会に貢献できる施設として努めます。

◎今年度の重点目標

【緑ヶ丘ハイツ診療所】

◎今年度の重点目標

常勤医師との連携により診療所の安定した運営に努めます。

1. 医療機関と連携し診療に努めます。
2. 感染症対策を徹底し予防、2次感染による拡大防止に努めます。



「ゆつくりでもじっくりでもいじやなら」
くしりべし学園

【くしりべし学園】

今年度の基本方針は、児童の障がい特性や生育歴を把握し、それぞれの心情を理解し心に寄り添い、権利を守ることが大切にした支援を行います。また、社会に出る中で必要となるスキル、ルール、マナーの習得を目指し、各学校とも連携して卒業後に自分に合った進路を見出せるよう支援を継続していきます。また、職員同士もお互いを理解し認め合い、活かし合うことを心がけ、それぞれの役割を明確にし、良いチームワークの中で、質の高い支援に努めます。さらに、引き続き感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心・安全な生活支援を実践するとともに、その中でも、できることに目を向け工夫し、可能な限り児童の声に耳を傾け余暇の充実を図ります。

【南後志児童デイサービスセンター】

今年度の基本方針は、各町村において利用した方が良好な潜在



したケースがあるため、出来る限り新規利用者を受け入れ、個別療育を中心に小集団療育を組み合わせ、様々な場面でのスキルアップやコミュニケーション能力の向上を図れるよう取り組みを行うとともに、関係機関との連携を図っていきます。また、新センター建設については、再度法人本部、三町村とも検討、連携を行い、方向性を決め早期の建設を目指します。くしりべし学園同様、感染症対策を徹底し、感染者が出ないように安心安全な療育を目指します。

「毎日を笑顔で楽しく暮らしていただくために」
くしりべし学園成人療

【くしりべし学園成人療】

徐々に高齢化していく中で健康管理、健診の重要性に鑑み、障害のある方々への健診体制の拡充と職員の介護技術の習得を目指すとともに、歯科医及び歯科衛生士と連携して、利用者の適切な口腔ケアに努めます。外国人の受け入れを継続して行っています。コロナ禍による活動には感染対策を施す等、万全の態勢で工夫しながら、利用者さんに喜んでもらえる活動に取り組んでいきます。

【くしりべしワークセンター】

セオス

利用者さんの作業内容の細分化、分業化を進め、状況に応じた作業の提供、体力、モチベーションの維持に努め、商品の質の向上から新規顧客の開拓に繋げていきます。また、関係機関や養護学校等と情報を共有し新規利用に繋がります。町民から好評を得ている花の無料配布は、コロナの状況により流動的に対応して参ります。

【いずみホーム】

利用者さんの健康管理の重要性が高まっており、高齢利用者が暮らしやすい環境整備を進めていきます。また、他の福祉サービスの利用等、利用者さんの意向に沿った次のステップや今後のグループホームの在り方等、継続的に協議してまいります。自治会活動についても、体力や能力に応じた活動を行ってまいります。

【黒松内つくし園特定相談支援事業所】

年2回のモニタリングを確実に実施し、利用者さんの意向を反映したサービス等利用計画の作成に努めて参ります。



全事業 共通に 利用者さんの 権利擁 護、虐待の防 止に努 めて参ります。

「原点に戻る」

「後志リハビリセンター」

利用者様の平均年齢は62歳、平均障害程度区分は5を超え、介護・医療業務の負担も年々増加傾向にあります。

今年の職員のテーマは『原点に戻る』です。

職員一人ひとりが、自身の業務レベルを確認・自覚し、最新の情報や技術を共有していくことで、習熟レベルの成長を促します。さらには、業務内容の見直し、利用者へのニーズや課題の把握、適切な支援の提供に努めます。職員の成長が利用者の満足度向上と安定した収入の確保へと繋げ、持続可能な施設運営を目指します。

感染症対策では「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」をモットーに感染拡大防止に努めます。口腔ケア・嚥下機能の維持については昨年同様、継続して取り組んで参ります。不適切な支援をなくすことだけではなく、虐待に繋がることのないような風通しの良い職場環境づくり、サービスの質の向上を目

指します。支援現場に起こりうる事故に対してのリスクマネジメント、自然災害や火災に対する防災対策や防犯対など課題は山積みですが、常に問題意識を持って取り組んでいきます。

◎今年度の重点目標

1. 利用者の意思を尊重した個別支援計画策定と生きがいを感じられる活動や口腔ケア・嚥下訓練、機能訓練、栄養管理等の総合的な支援。

2. 職員個々の理解度を再確認する研修体制の構築。支援に対する最新の技術・情報を共有し、業務レベルの向上に努める。

3. 利用者の権利擁護・成年後見制度の利用促進・地域との交流や地域貢献事業への積極的な取り組み

4. 外国人技能実習生の計画的な育成と日常生活のサポート



「利用者とともに歩む施設づくり」

「湯の里・黒松内」

湯の里・黒松内は、介護保健施設の使命というべき「在宅復帰施設」として位置づけられています。利用者一人ひとりが心豊かで快適な生活ができるよう、利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立つて支援して参ります。老健施設としての『多職種協働、多様なニーズに多機能なサービスで応える』姿勢で事業展開を適正に保てるよう努力して参ります。

また、LIFE(科学的介護)の作成、ICT機器の活用による業務の効率化を図って参ります。地域や家庭との結びつけを重視した運営を行い、市町村や保健・医療機関、その他の関係機関との密接な連携を図ります。さらに利用者及びご家族等からのいかなる相談にも親切・丁寧に対応し皆様に信頼されるよう努力致します。

拠点内では、短期入所事業、通所事業、訪問事業など在宅サービスを支える事業があり、地域からの一層の信用と信頼を受

け黒松内町をはじめとする近隣町村の方々のご支援を得てしっかりとしたサービスの提供に努めて参ります。

◎今年度の重点目標

1. 利用者一人ひとりが、心豊かで快適な生活を提提供

2. 利用者に安心・安全なサービスを提供

3. 施設全体が明るく利用者が職員に気兼ねなく声を掛けられる環境づくり

4. 職員間の良好な関係の構築と心身の健康づくり

5. 職員一人ひとりが経営に対する意識を持ち組織機能の評価運営、コスト意識を高める

6. 法人内(養護・特養・老健)の高齢者施設との連携のある連携に努める

7. 施設機能の提供と地域貢献の推進



「利用者のために深化宣言！」
私たちも進化しよう！
老人福祉施設慶和園

昨年度は、前年度から課題としてあがっていた利用者・ご家族とのコミュニケーション・職員間のコミュニケーション、基礎介護研修の実施について取り組みをすすめ、ご家族へ写真アルバムを送信やペアユニット運営におけるミニ会議の開催、外国人交流企画の実施や各委員会主催の園内研修の展開等、積極的に進めることができました。



R3.12基礎介護研修「移乗・移動ケア」の様子

今年度は、前年度すすめたこれらの取り組みを深化（知識の修得のみならず、各利用者に応

じたご本人本位のケアを多職種協働で深掘りし、ご本人本位のケアを熟考し実践していくこととさせ、利用者・ご家族・職員間の関係性をより深いものにしていきたいと考えます。

利用者の暮らしを支えるための強いチームづくりには、私たち職員一人ひとりがこれまでの自分から「次の自分」に進化（これまでの反省点や、課題を克服し自律的に変わっていくこと）

していくことが必要不可欠です。コロナ禍においてあらゆる事柄が新しいやり方に切り替わる中、生活支援に取り組む我々職員も新しい価値観を柔軟に受け入れつつ、どのように利用者ニーズに添えていけるか、職員一丸となつて各取り組みを進めていきます。

以上を含め、今年度の慶和園運営テーマを「利用者のために深化宣言！」と私たちも進化しよう！と定めます。
重点目標 ①地域貢献
・地域における役割について、

養護「地域でのお困りケースの解決」、特養「最期のときまでを安心して暮らす」こととし、各関係機関とも連携し取り組みをすすめます。

・コロナ禍においても、地域との交流が途切れることが無い工夫を重ねていきます。

②人材育成・定着

・他ユニット・他施設体験研修の開催や座学・実践研修の開催を通じて対人援助業務に求められる広い視野と自律心を養います。

・組織力強化に向けて、多職種協働研修と階層別研修（リーダー研修、係長研修）を行います。
・ケアの質を評価する機会としてLIFE（科学的介護情報システム）の活用や看取り事例のふりかえり（各ユニットでふりかえりプロセスの統一、評価シート新設など）、他職員のケア評価等の取り組みを進めて参ります。

③人が集まる組織

・利用者確保については、養護・特養相談員による関係機関の定期訪問と情報交換を基本に、その内容を園内入所判定会議と

無駄なくリンクさせ、安定的な待機者の獲得とスムーズな新規利用者の受け入れを行っていきます。

・働き手の確保については、リモートワークの導入や子連れ出勤制度の試験的運用など新しい取り組みにチャレンジしていきます。

以上、重点目標の取り組みを正直に進めることで利用者・ご家族との関係性の質を深め、慶和園利用者の笑顔につなげて参ります。

2022年度 重点目標
「利用者のために深化宣言！」
「私たちも進化しよう！」
目指される領域にむかふ。
園地帯との交流を増やす。
園内保険と共働する。
園外定期的な役割を果たす。
園内保険と共働する。
園外定期的な役割を果たす。

「夢 ありがとう」
 「夢へ向かい、新たな夢を追い求め」
 ～倶知安地区～

中期計画最終年度となる本年は、昨年度の検証結果から事業形態の変更及び、それに伴う流動的な人員配置を実現とする事業再編を継続して行います。①「機能的かつ、流動的な事業運営」②「支援の質の向上を図るための職員教育を行うこと」③「安定した事業の運営を行うこと」。この3点の柱を基に各事業所及び地区全体の運営を行い「ALL倶知安」として一体的な事業運営を行います。

障がい福祉サービス部門については、羊蹄セルプ及びつくしホームの利用定員削減の検討を行い、利用者に充実した支援の提供を可能とする機能的な組織運営を目指し、且つ、安定した事業収益を得られる事業体制を構築します。また、就労継続支援B型事業所の生産部門における積極的な取り組みと販売促進強化を行い、引き下げとなった作業工賃額を変更前と同額まで引き上げを行います。

介護保険部門については、人員が慢性的に不足している状況を組織的に打破するため、ヘルパーテーションの指定先の変更を行い、各事業所へ人員の配置を実現とした組織体制を構築します。さらに、課題となっている職員確保において今後の在り方や事業形態の検討を行います。

また、グループホームつくしんぼの運営を倶知安地区全体でサポートし、サービスの見直しやシステムの見直しなどを行い、より利用者に喜んで安心した生活を送っていただける事業所を目指すため事業の再構築を行います。



「利用者の笑顔・喜び・生きがいのために」
 ～泊村むつみ荘～

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、2021年度は「利用者の笑顔・喜び・生きがいのために」を目標に掲げ、感染症対策の充実強化や人員配置の適正化を図るとともに、利用者様の状態に即した適時・的確なケアプラン（支援計画）の作成・見直しを進め、良質なサービスの提供並びに利用者との信頼関係の醸成に努めました。

2022年度はこれらの取り組みに加え、目標の達成に向けては、利用者様個々の「尊厳」と「暮らしの継続」を守ることが最も重要であることから、「法人及びユニットケアの理念」のより一層の浸透を進めます。

また、接遇マナーの徹底や「LIFE」を効果的に活用し、「科学的な自立支援効果が裏付けされたサービス」の実現を目指します。

そして、職員の職場定着を推進するため、研修事業やハラスメント対策の強化を図り、「働きやすい職場環境づくり」を進



- めます。
- 以下の重点目標を達成するため、本施設職員はもとより、泊村役場等関係機関の方々や地域住民の皆様と連携協力しながら「誰からも慕われ、選ばれる施設づくり」を推進します。
- ◎今年度の重点目標
1. 良質なサービスの提供体制づくり
 2. 安全で安心な施設づくり
 3. 安定的な運営体制づくり
 4. 働きやすく開かれた職場環境づくり

新たな職員が仲間入り 2022年度 辞令交付式開催

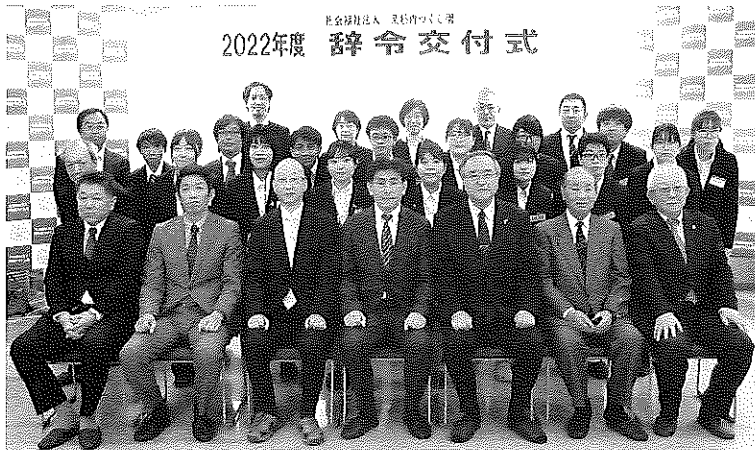
新年度がスタートした4月1日、2022年度法人辞令交付式がしりべし学園成人寮「地域交流スペースふらっと」にて開催されました。



辞令交付式に臨む新任職員16名と人事異動等の施設長1名、副施設長1名に、大代理事長より辞令が手渡され、期待を込めた訓示が述べられました。

一人ひとりが理事長から辞令を受け取り、代表の新任職員ユニットケア慶和園の古森千絵管理栄養士から「法人職員としての誇りと責任を自覚し、一日も早く利用者さんやご家族から信頼される職員になるため日々努力を惜しまず、邁進します」と新たな出発に向けた意気込みが伝わる誓いの言葉がありました。

2022年度 辞令交付式



新型コロナウイルス感染症の予防のため、昨年同様に縮小開催で式典を行いました。会場入り口では新任職員やご来賓、理事

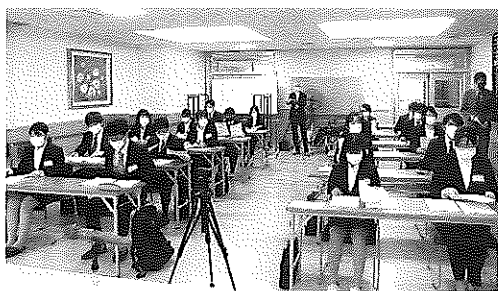


2022年度新任職員研修会

長以下出席者全員に、手指消毒とマスク着用等の感染対策を十分に行い開催しました。

その後は、新任職員及び2021年度に入職した職員を対象に、新任職員研修会を実施しました。

新任職員研修会では、新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年度に引き続き、従来2日間で行われていた内容を短縮して実施しました。



創始者である元理事長・廣瀬清藏氏の映像を交えて、当法人が設立された経緯や概要などが紹介されました。また、将来的ビジョンや社会福祉法人としての使命について、倫理綱領の説明や、法人職員としての心構え等の講義を行

いました。黒松内町からは、ゴミの分別やリサイクル推進等の説明があり、皆さん熱心に研修を受けていました。半年後には研修会で学んだことの検証を行うていきます。

2022年度 新任職員研修会 研修プログラム一覧

※敬称略

・開会・オリエンテーション
①「法人の歴史・今後のビジョン
社会福祉法人としての使命について」
社会福祉法人黒松内つくし園

理事長 大代 貴輝
監事補佐 武井 光秋
②「倫理綱領についての理解」
理事・黒松内つくし園

施設長 岡久 孝雄
③「法人職員としての心構え」
常務理事・しりべし学園・

しりべし学園成人寮施設長
遊部 眞澄
④「地域住民としての心構え」
黒松内町役場住民課

課長 出口 巧
主任 大石 敏彦
④「新任職員フォローアップ研修」
「虐待防止についての説明」
法人研修委員会

認定こども園黒松内保育園
2022年度入園・進級式

4月9日に第56回進級・入園式を行いました。今年もコロナ感染拡大のため、対象児を絞り、昨年途中入園した子と新入園児、そして園の代表としてぱんだ組（年長児）のみの参加とさせていただきますました。

いつもと違う雰囲気泣いて母親から離れない子や、楽しくなつてはしゃいでいる子もいました。担任から名前を呼ばれると、大きな声で返事ができている子もいました。



ぱんだ組の子ども達は、この日を楽しみに歌の練習をしつかりと行ってきました。本番前は「緊張する〜！」と言いなながら、本番では元気な歌声を聞かせてくれました。

保育園らしい進級・入園式となり、お祝いのケーキをもらおうと、喜んで笑顔で帰って行きました。今年度は、新園児9名を迎え、総勢56名でスタートしました。



デイサービスセンター
開設30周年を迎えました

2月13日、黒松内町デイ・サービスセンターは開設30周年を迎えました。本来であれば、節目の30周年を盛大にお祝いしたかったところですが、未だコロナウイルス感染拡大のため、まん延防止等重点措置が適用されています。余興などは取り止めとしましたが、2月14日からの1週間、開園記念祝賀会を開催。その中で、吉田管理者から「皆様にたくさん笑って、楽しい、嬉しいと感じて頂けて頂けるよう努めます」と挨拶を述べました。この素晴らしいサービスを提供してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



リハビリセンター
開園記念日

4月1日、後志リハビリセンターは開設33周年を迎え、開園記念祝賀会を開催しました。今年もコロナ禍での開催であるため、来賓や利用者、ご家族、懐かしい職員が参加できませんでしたが、メッセージを映像で利用者にお届けしました。ご家族や久しぶりに見る職員からのメッセージを見ると、利用者の嬉しそうな笑顔と感謝の声が聴かれました。



法人会務の運営状況 (2022年1～4月開催分)

- ◆ 1月7日 人事考課委員会
- ◆ 1月11日 施設長・副施設長会議
- ◆ 1月26日 監事監査
- ◆ 1月27～28日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 2月14～18日 給与算定会議
- ◆ 2月15日 施設長・副施設長会議
- ◆ 2月16日 苦情解決委員会
- ◆ 2月18日 研修委員会
- ◆ 2月21日 虐待防止委員会
- ◆ 2月22日 リスクマネジメント委員会
- ◆ 3月2～4日 資金収支予算ヒアリング
- ◆ 3月15日 施設長・副施設長会議
- ◆ 3月22～23日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 3月28日 第427回 理事会
- ◆ 4月1日 辞令交付式・新任職員研修
- ◆ 4月15日 虐待防止委員会
- ◆ 4月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 4月12日 苦情解決委員会
- ◆ 4月19日 リスクマネジメント委員会
- ◆ 4月21日 広報委員会
- ◆ 4月29日 法人奨学資金授与式

「厚志に心から 感謝申し上げます」

(令和3年12月15日から4年3月31日)
継承は略させていただきました。また、
常勤役員からのご厚志については、
お名前を控えさせていただきます。

洞参寺、坂下英清、黒松内つくし
後援会、茂尾実、2021年度卒
園児保護者一同、鈴木昭文、黒羽
修平、榎大星池田商店、花田忠雄、
谷口徹、三坂洋子、高橋克之、佐
々木輝夫、新保家、鈴木晶子、榎
小間旅館(以上黒松内町)、竹岡
家、中森栄、銜光銭商店(以上長
万部町)、山田英男、中村小夜子、
黒崎勝幸(以上俱知安町)、遠藤
敦、京極町社会福祉協議会(以上
京極町)、上山亮子、上山哲之(以
上岩内町)、下池毅成(泊村)、
長谷川英俊(八雲町)、武村行男
(函館市)、横井はるみ(岩見沢
市)、仲鉢直樹、北海道コカ・コ
ーラグループ労働組合連合会、北
海道共同募金会、北海道信用金庫
ひまわり財団、野呂栄司(以上札
幌市)、一円募金箱

えぞふじ納豆

安心安全な道産大豆を使用
北海道の自然の恵みたっぷり



製造 羊蹄セルブ
TEL 0136-23-0425
北海道虻田郡倶知安町字峠下 113-14

喫茶 陽だまり

ミニ図書室、絵本コーナー、
フリーWi-Fi完備♪
キッズルーム・マンガ約15,000冊
地域交流スペースも設置しており、
団体での会議や交流の場としても
ご使用可能です。



営業時間 10:00～17:30
ランチタイム 10:00～14:00
定休日 日曜日

TEL 0136-55-5000
北海道虻田郡倶知安町
南3条西1丁目17